

母子保健領域における ソーシャル・キャピタルの活用

大分県福祉保健部

藤内 修二

2011年「今年の漢字」

絆

進む「関係性」の希薄化

- 日本の社会を覆う閉塞感
 - 平成10～22年まで自殺での死亡は3万人を超え、景気は良くなっても、自殺者数は減らなかった
 - 東日本大震災で「絆」が見直され、自殺が減った
 - 孤立が原因と見られる凶悪事件も発生
- 親子の「愛着形成」がうまくできずに虐待に至る場合も
 - こどもの心の健康にも、暗い影を落としている
- 家族の絆の形成に重要な役割を果たしてきた食卓での「一家団欒」が失われつつあることもその背景に
 - 家族の食事時間がバラバラで、「孤食」が常態化
- コロナ禍の影響もあり、地域の絆はますます希薄に

「地域の絆」をもう少し深堀すると・・・

- 急用で、出かけなければならない時、ご近所の方に子どもを預けるには、どのような条件が必要でしょうか？
 - ① ネットワーク
日頃から付き合いがないと、そもそも預けられない
 - ② 信頼関係
ご近所の方への信頼がないと、大切な子を預けられない
 - ③ 互酬性の社会規範
「お互い様」という関係性がないと、負担の大きいお願いをすることができない
- 世界的に、こうした「絆」が、ソーシャル・キャピタルと（社会関係資本）して注目されるようになってきた。

ソーシャル・キャピタルとは？

- ソーシャル・キャピタル Social Capital は、「ネットワーク」「信頼」、「社会規範」といった人々の協調行動の活発化により、**社会の効率性**を高めることができる社会組織に特徴的な資本を意味し、物的資本、人的資本などとならぶ新しい概念（地域保健対策検討会報告書）

※ 政治学者 R. パットナムの研究で、イタリア北部の都市の方が、南部の都市に比べて、行政サービスに対する市民の満足度が高く、その背景として、ソーシャル・キャピタルの存在を指摘。

※ ソーシャル・キャピタルの醸成は、「畑」づくりである。豊かな「畑」ができれば、どんな種も育ちやすく、実を結びやすい。

ソーシャル・キャピタルの効用

健康面の効用

総死亡率 ↓

自殺率 ↓

自覚的健康度 ↑

健康行動 ↑

喫煙率 ↓

運動習慣 ↑

地域の絆

健康以外の効用

行政効率

まちおこし

防災対策

治安・防犯

子育て

教育

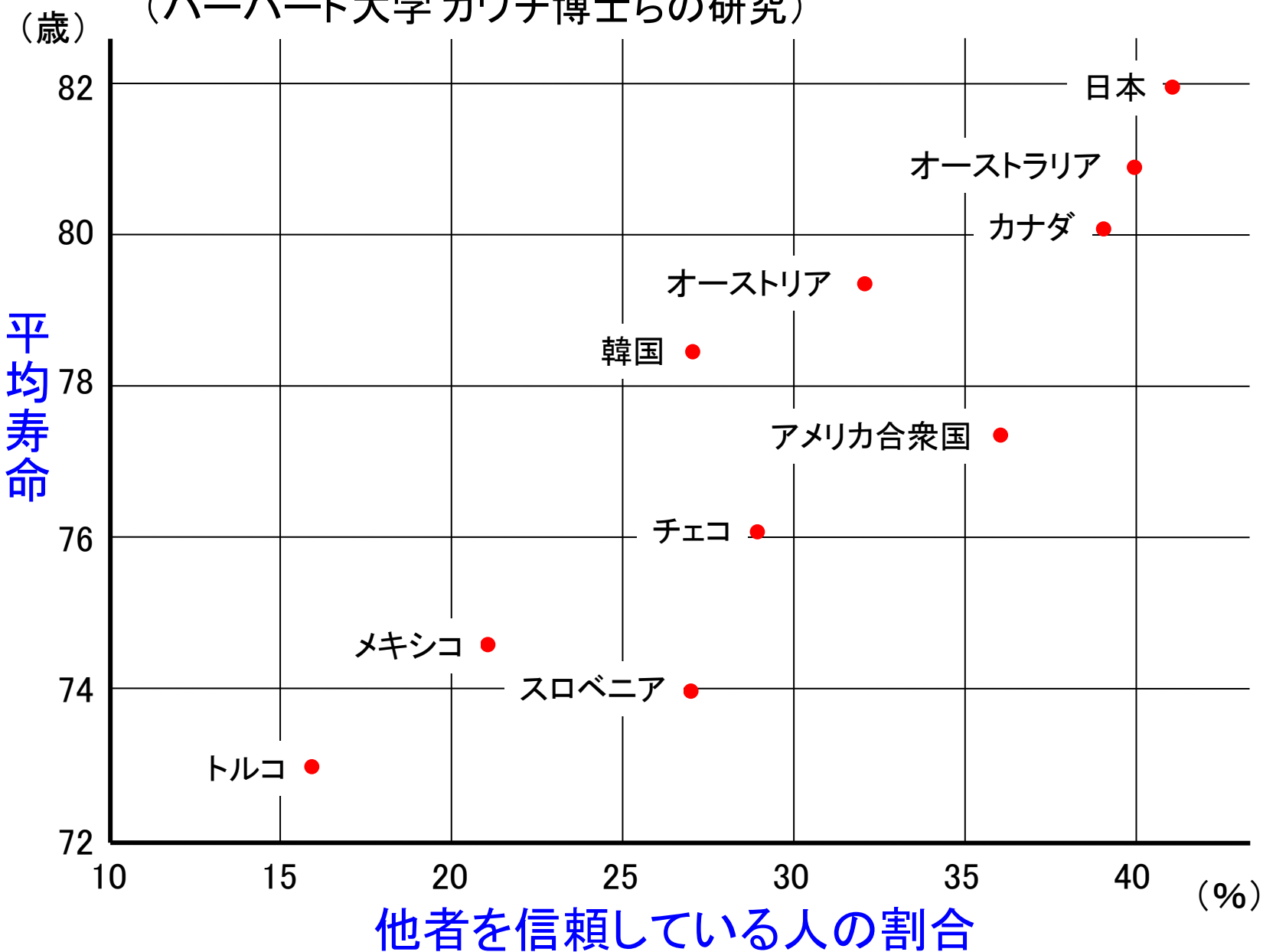
就労

技術革新

経済成長

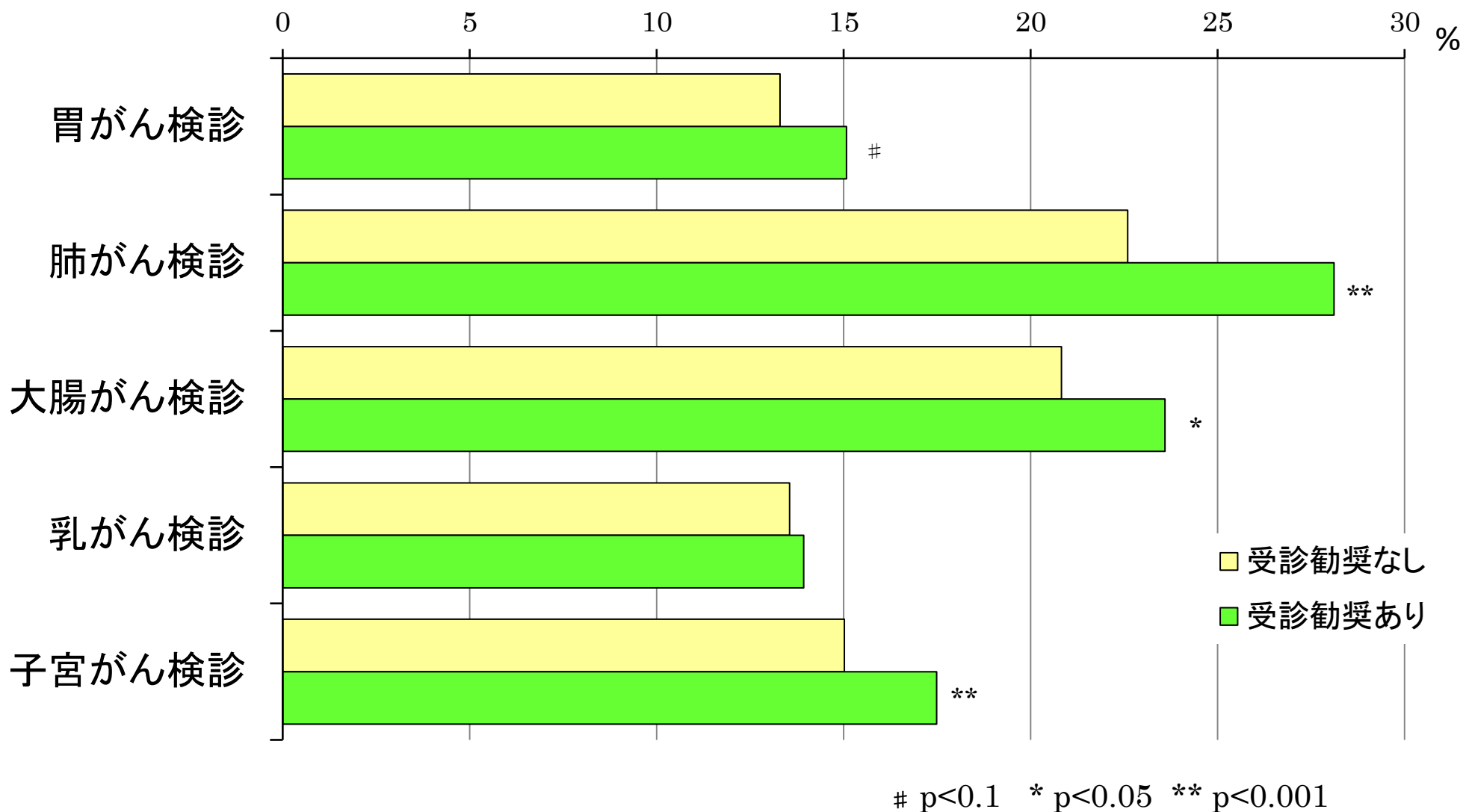
他者への信頼度と平均寿命の関係

(ハーバード大学 カワチ博士らの研究)



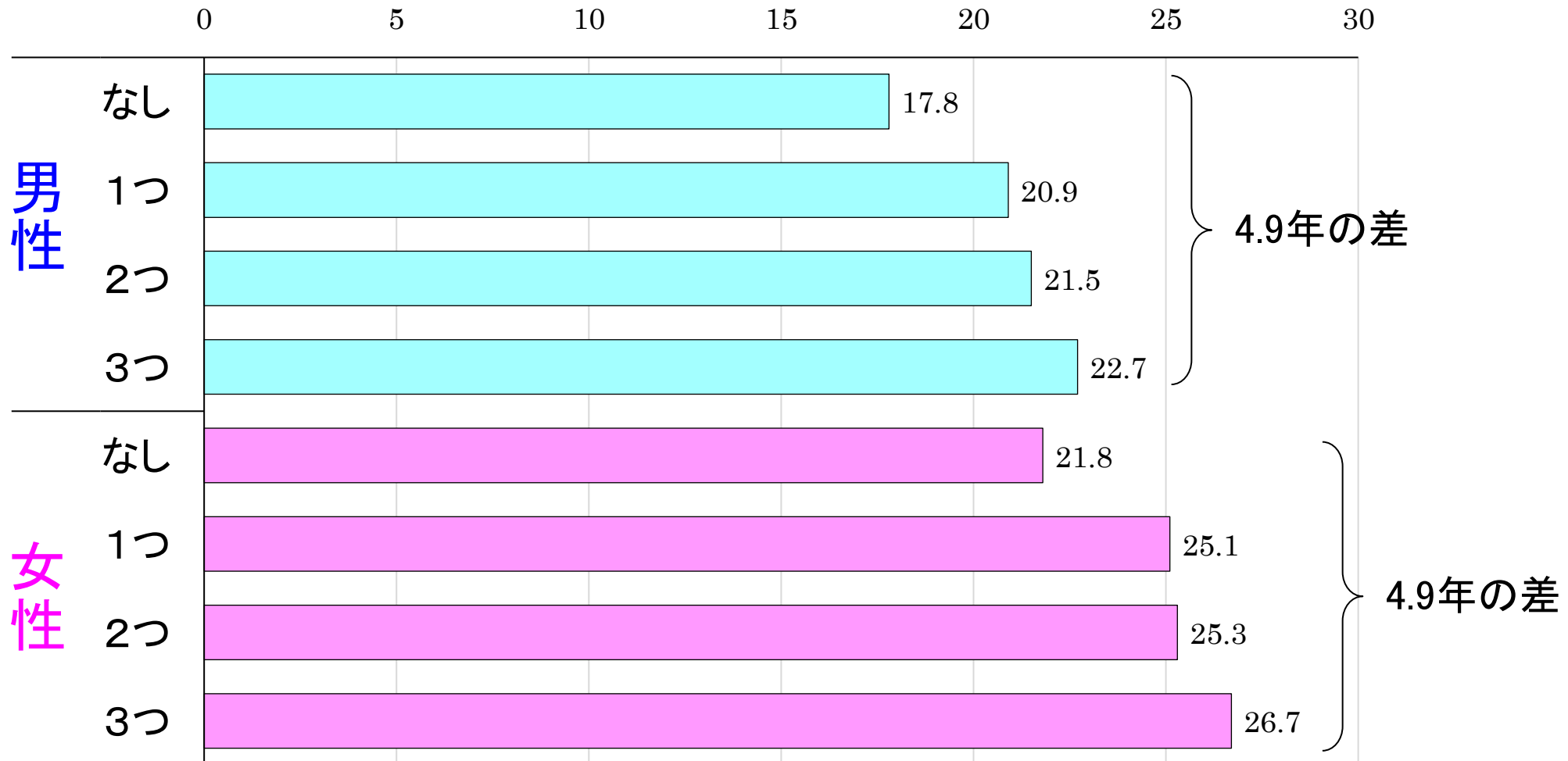
推進員等の活動とがん検診受診率

(平成23年度地域保健・健康増進報告)



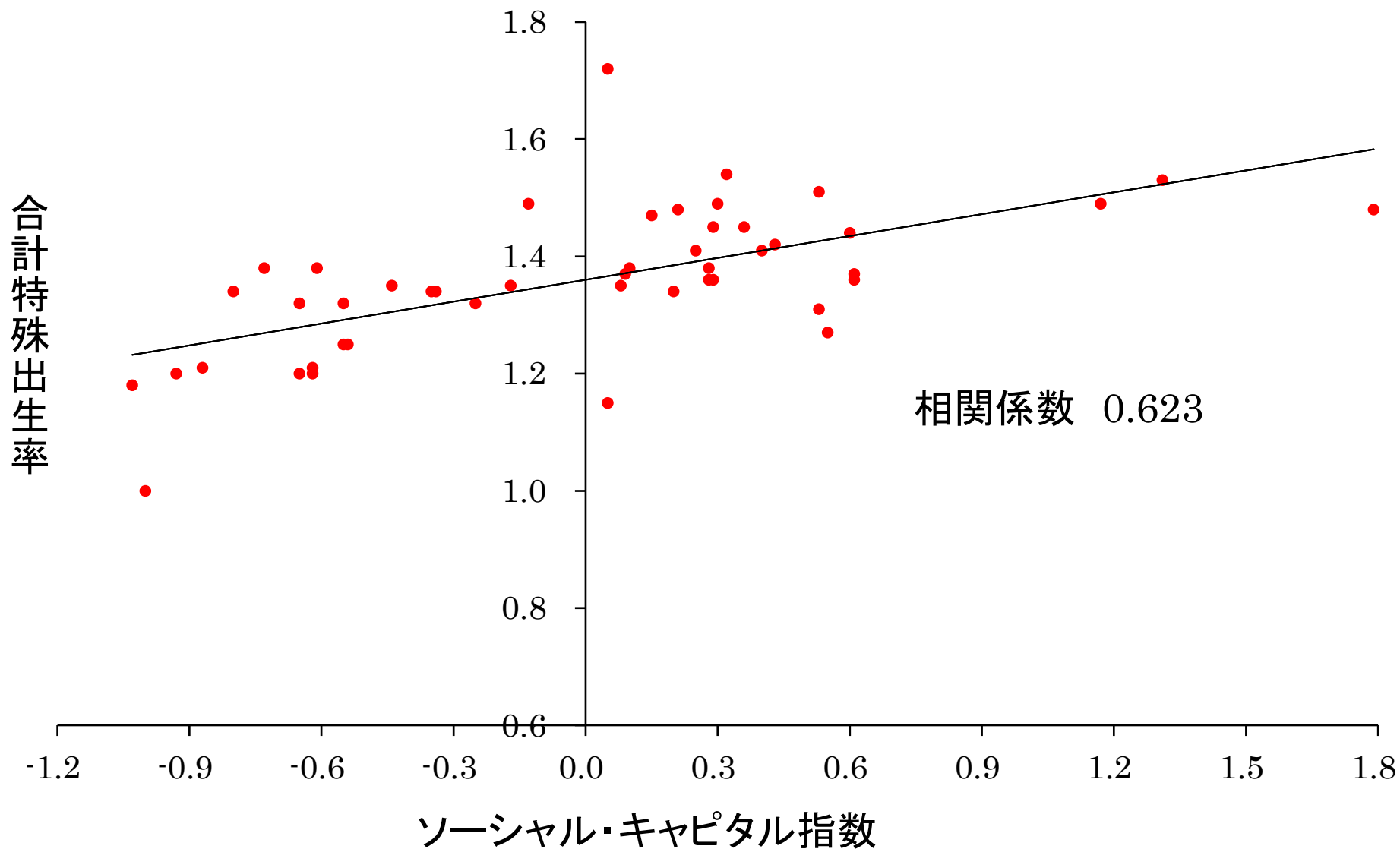
地域活動の参加と65歳時の健康寿命

大崎コホート2006研究（1万2千人の高齢者を11年間追跡調査）



①町内会など地縁的活動、②趣味の活動、③ボランティア活動の参加状況

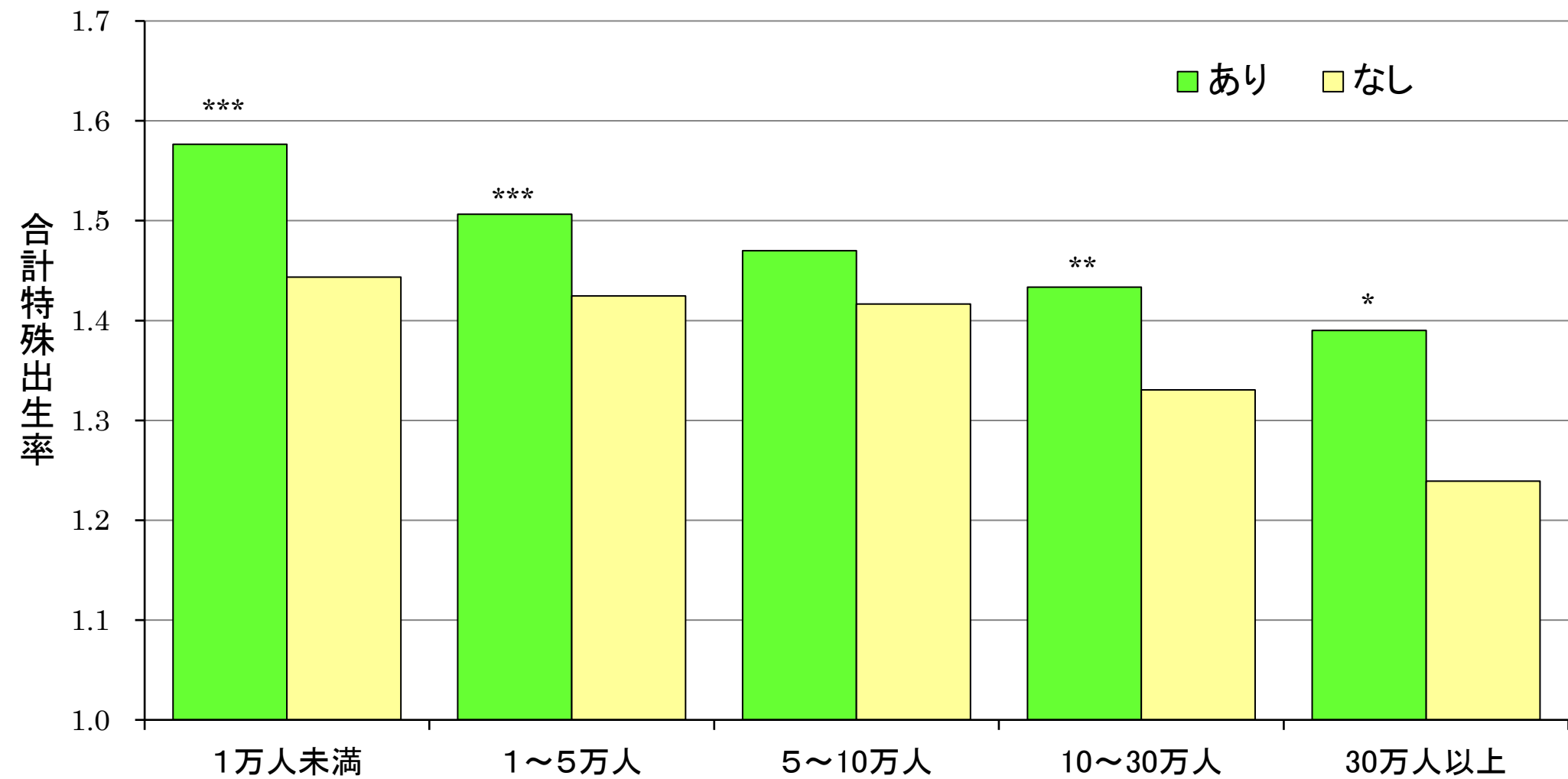
都道府県別の地域の「絆」と出生率



(2003年内閣府調査及び人口動態統計データより作成)

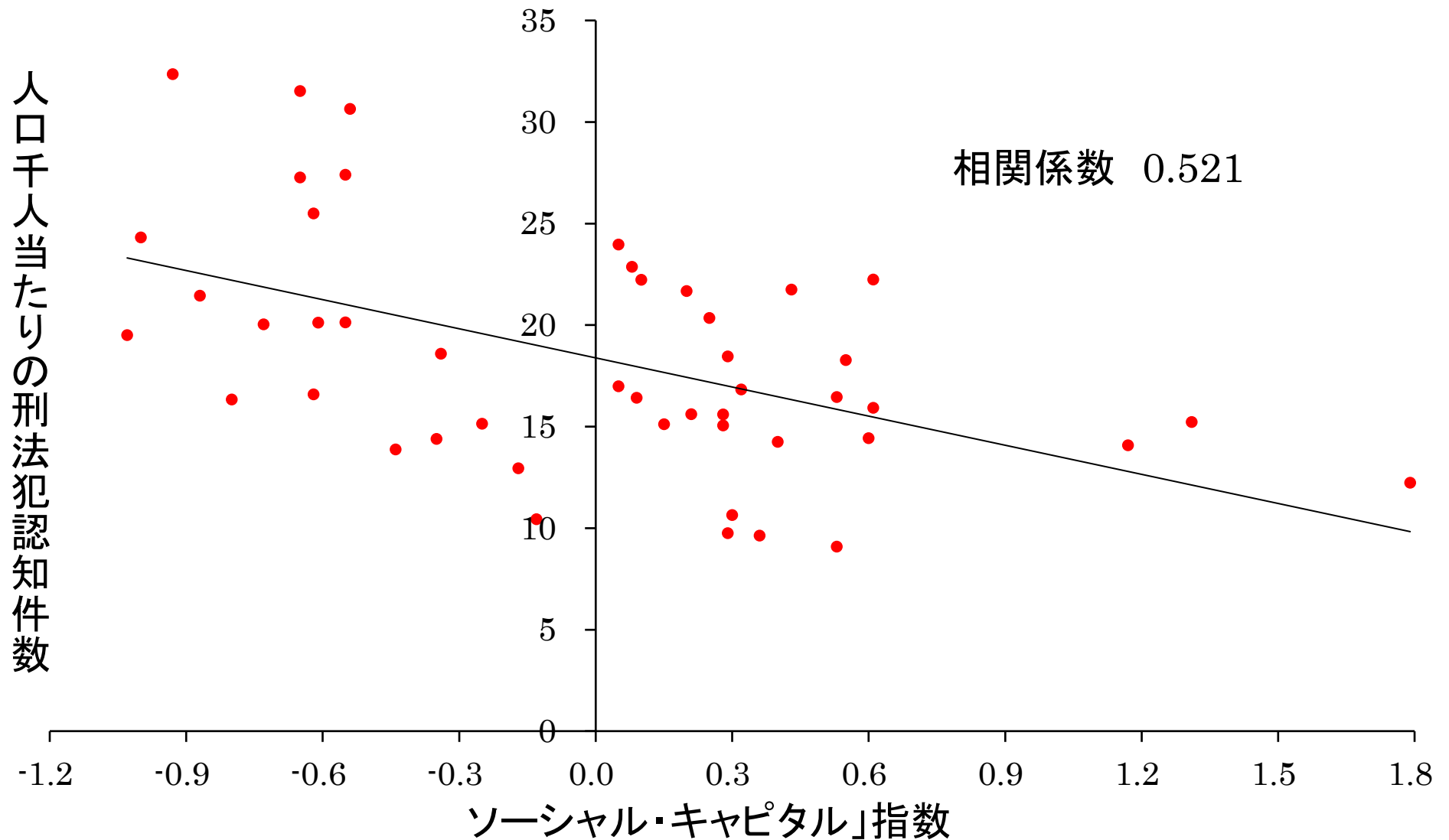
母子保健推進員等と出生率

(平成15～19年)



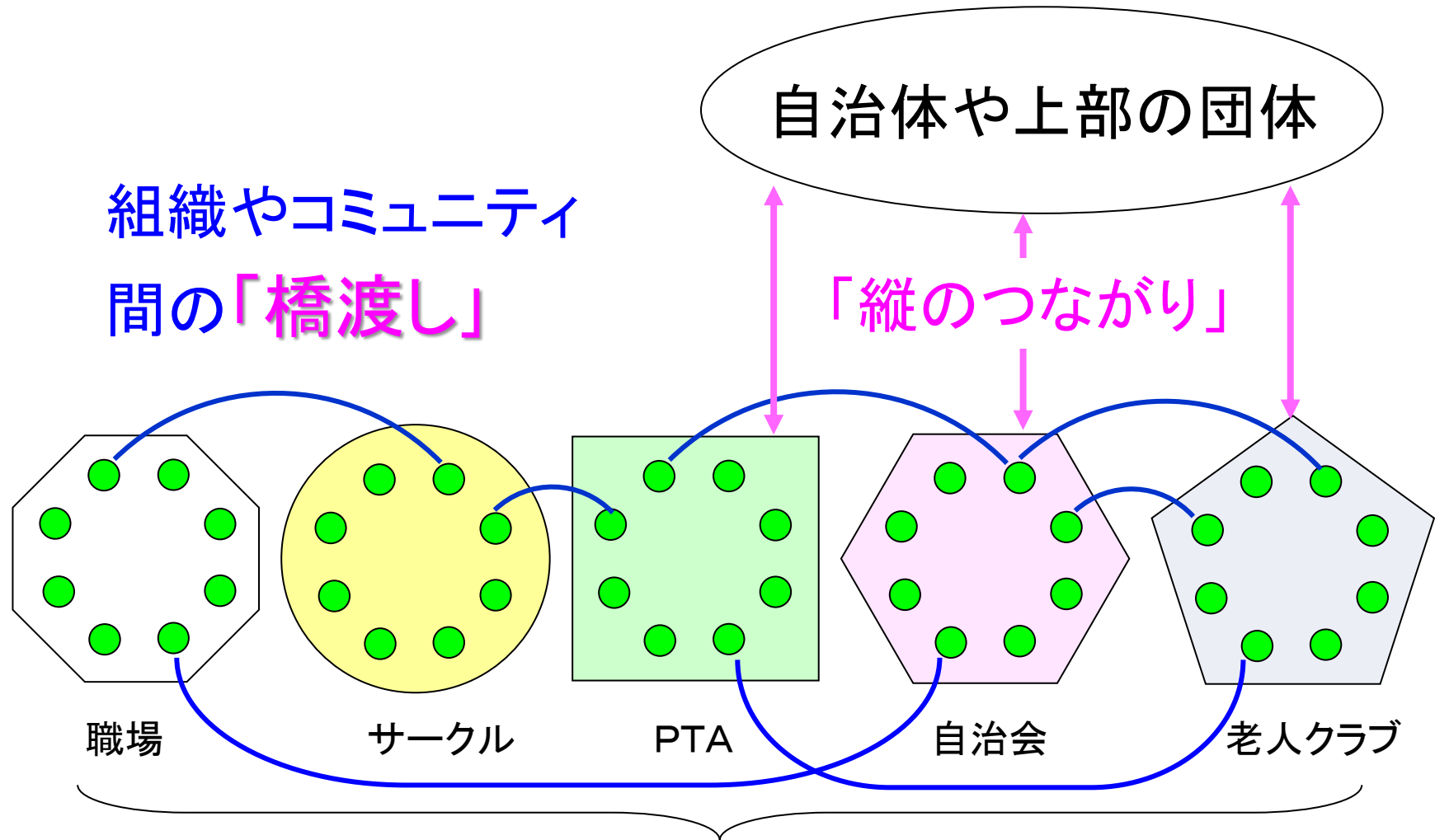
* $p < 0.05$ ** $p < 0.001$ *** $p < 0.0001$

都道府県別の「絆」と刑法犯認知件数



(2003年内閣府調査及び犯罪統計書等より作成)

ソーシャル・キャピタルの形態



様々な団体・組織やコミュニティ内の「結束」

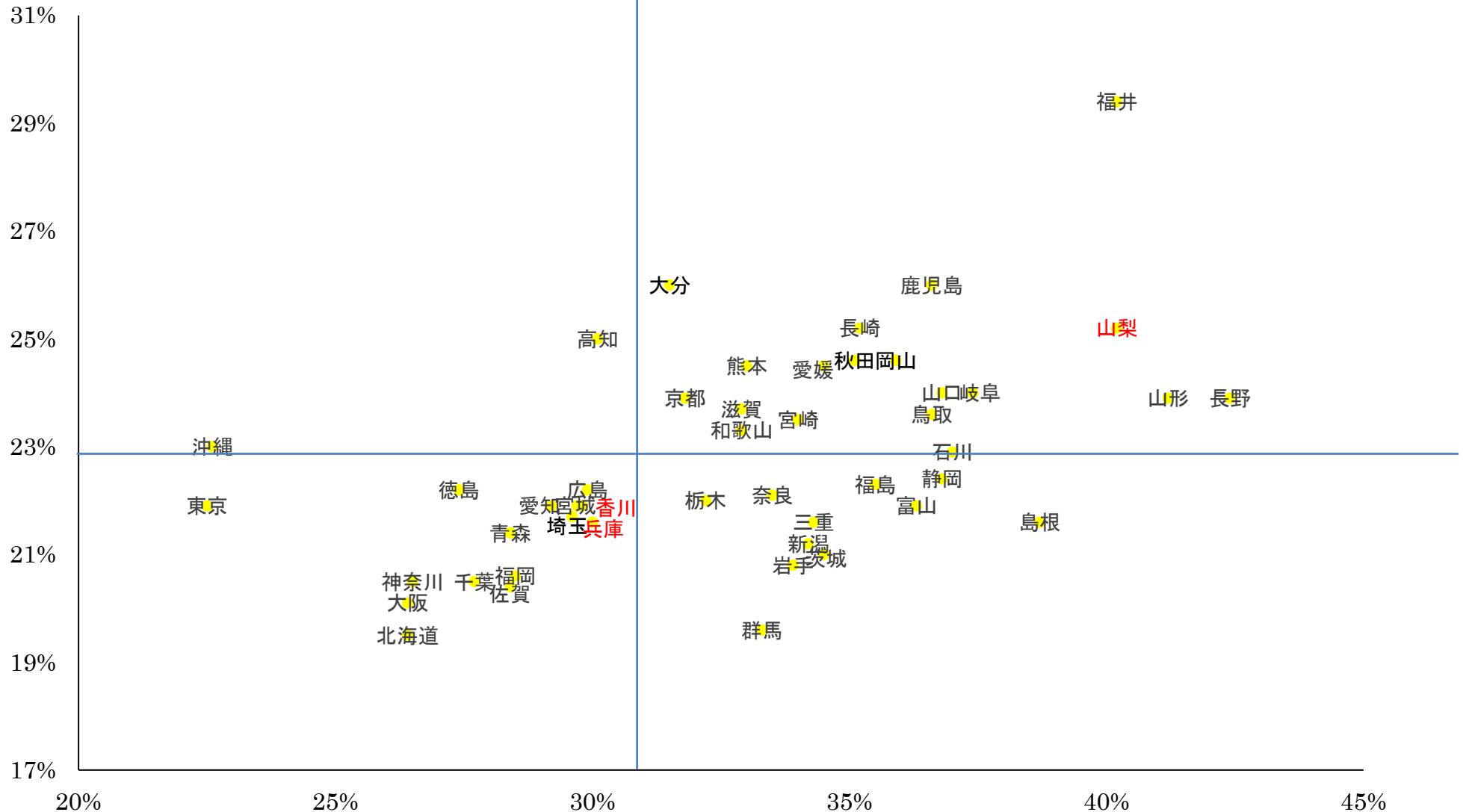
ソーシャル・キャピタルの形態

	結束型	橋渡し型
形態	フォーマル	インフォーマル
結びつきの強さ	強い	弱い
組織の地理的範囲	狭い,「地縁」	広い,「知縁」
組織の使命や志向	内向き	外向き
組織への帰属	排他的	包括的
コミュニティー	農村型	都市型
イメージ	熱い,濃い	ちょっとした
対比表現	近所付き合い	SNSでのつながり
強み	安定性	革新性
弱み	保守性	不安定性

都道府県別のソーシャル・キャピタル

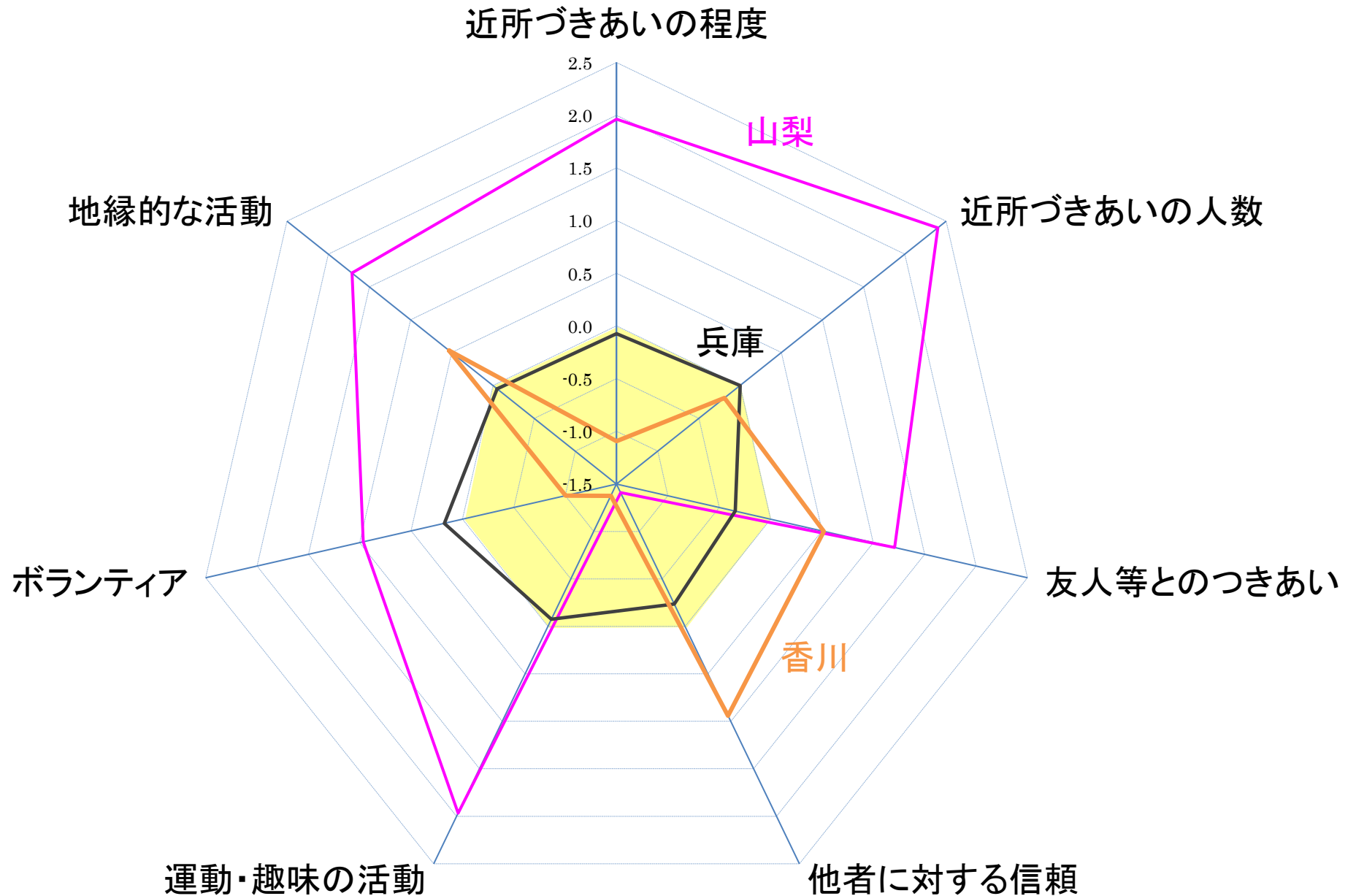
(内閣府経済社会総合研究所 2016年)

橋渡し型ソーシャル・キャピタル

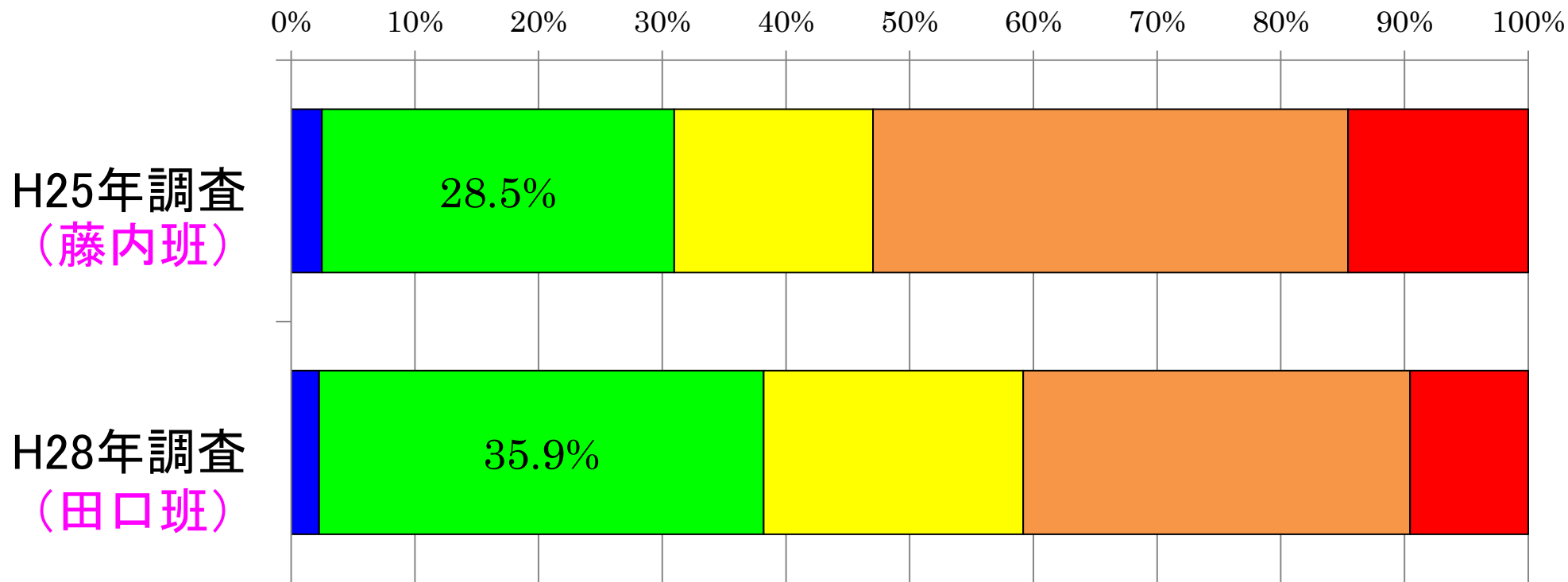


結束型ソーシャル・キャピタル

県別ソーシャル・キャピタルの特徴

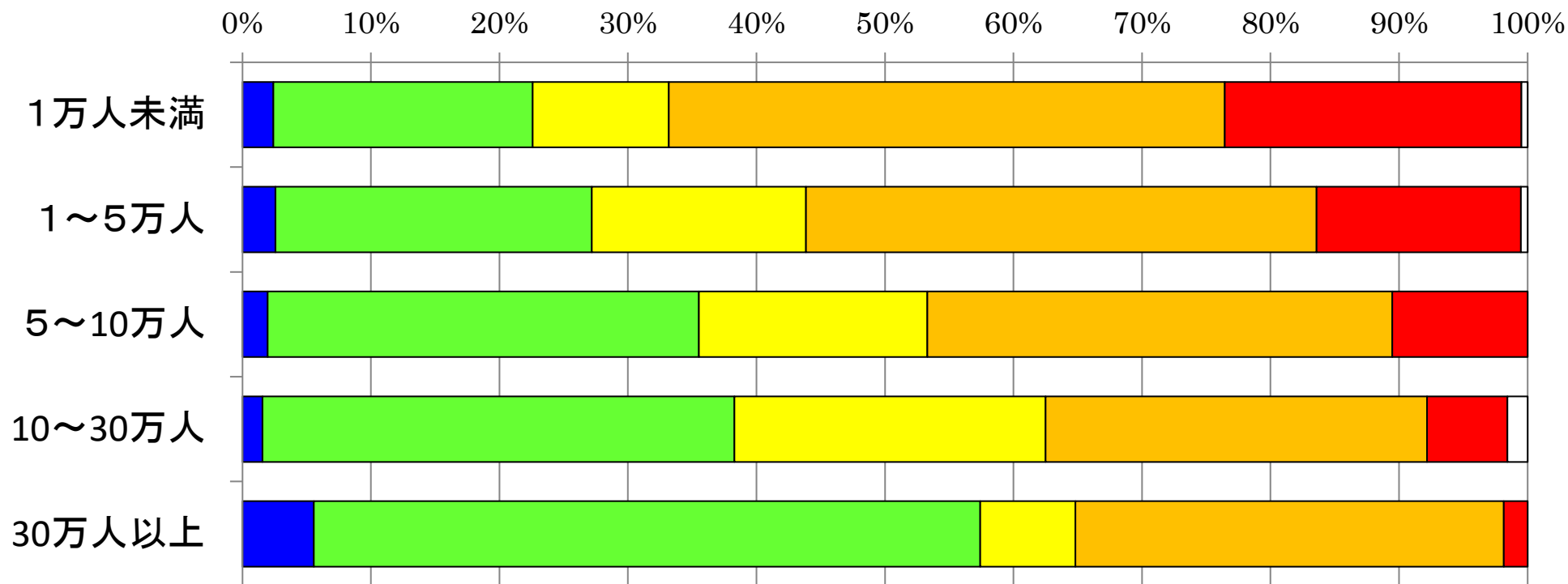


ソーシャルキャピタルの位置付け



- 最優先で取り組むことについて、事務職を含め、担当課内で合意が得られている
- 積極的に取り組むことについて、事務職を含め、担当課内で合意が得られている
- 積極的に取り組むべきとの意見もあるが、担当課内で合意には至っていない
- 取り組みたいと考えているが、課内での協議はしていない
- 今のところ、取り組みについて検討する予定はない

ソーシャルキャピタルの位置付け



- 最優先で取り組むことについて、事務職を含め、担当課内で合意が得られている
- 積極的に取り組むことについて、事務職を含め、担当課内で合意が得られている
- 積極的に取り組むべきとの意見もあるが、担当課内で合意には至っていない
- 取り組みたいと考えているが、課内での協議はしていない
- 今のところ、取り組みについて検討する予定はない

ソーシャル・キャピタル活用の阻害要因

- ソーシャル・キャピタルの位置付けが低い
人口規模の小さな自治体ほど顕著
- 既存の住民組織の停滞（小規模自治体）
旧態依然とした住民組織を活用しきれない
- もともと地縁が乏しい（大規模自治体）
住民組織活動が根付いていない
- 住民組織のメンバーが確保できない
多くの住民組織で会員の高齢化が課題に
- 住民組織活動だけが、ソーシャル・キャピタルではない
多職種協働や多機関協働もソーシャル・キャピタル
- ソーシャル・キャピタル醸成のノウハウ不足
どうすれば、醸成・活用できるのかが分からない

何をすれば、ソーシャル・キャピタル醸成？

ソーシャル・キャピタルの醸成手段は4つ

① 「地域の絆」を深める

住民組織活動に代表される取り組み
声かけ, 訪問, 学習, 実践

② 組織間の連携や多職種での協働

子育て支援や健康増進, 介護予防, 在宅医療など,
様々な場面で協働が求められている

〇〇推進協議会, □□連絡会議は無数！

③ 制度を変える

条例や法律の制定, 制度づくり

④ 環境を変える

人と人との交流が容易なまちづくり
交流施設, 公共交通機関

地域の「絆」を深めるために

- 地域の「絆」を深めるには、様々な切り口が健康づくり(食事, 運動), 食育, 子育て介護予防, 防犯, 防災, 環境美化
- 地域には既に、様々な住民組織やネットワークがあるネットワークに重なりや偏りがあるのも事実
- 住民組織活動が重荷に感じられるようになってきた地域の濃厚な人間関係を嫌い、自治会や老人クラブ等の組織活動への参加を敬遠する人も少なくない
- その一方で、新たな「絆」を求める動きも出てきたフェイスブックなどのITを活用したソーシャルネットワーク(SNS)でのつながり 「地縁」ではなく「知縁」
- 「知縁」は「地縁」より負担感が少ない！？
「地縁」は「絆」としては強固だが、排他的？

「知縁」と「地縁」の両方が大切

- 「知縁」だけで、災害時に命を守れるか？
一緒に避難したり、避難所での生活等
には「地縁」が重要な役割を果たしていた！
- 「知縁」と「地縁」をうまく、組み合わせることも大切
地域外の住民との交流により、「地縁」を排他的では
なく、もっと包括的なものにすることも重要
地域のルールを守らない人を優しく受容することも
- 地域においても、負担に感じない程度の「ほど良い」
距離感を保つことが大切
日頃のあいさつや声かけは、「ほど良い」距離感

互いに「顔見知り」になることが重要

災害時だけでなく

- 子どもの泣き声や歓声が騒音になる時代
閑静な住宅街で、保育所や公園設置に対する反対運動
- 知らない子の声は「騒音」になるが、知っている子の声なら「元気の源」になる！
声を聞くだけで、子どもの笑顔を思い浮かべられる
- まちで声をかけても返事をしない子ども達
知らない人に対して、警戒をするように教えられる
← 関係性が希薄な地域は治安が悪い
- 「思いやりの心」は重要だが、知らない人のことまで配慮するのは容易ではない
活動を通して地域の住民と触れ合う機会が重要

住民組織活動とソーシャル・キャピタル

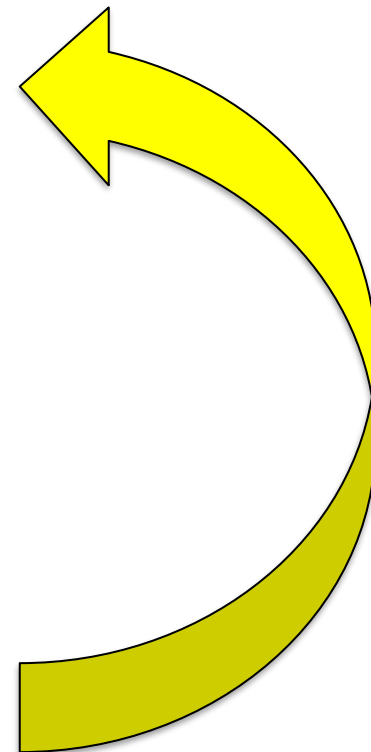
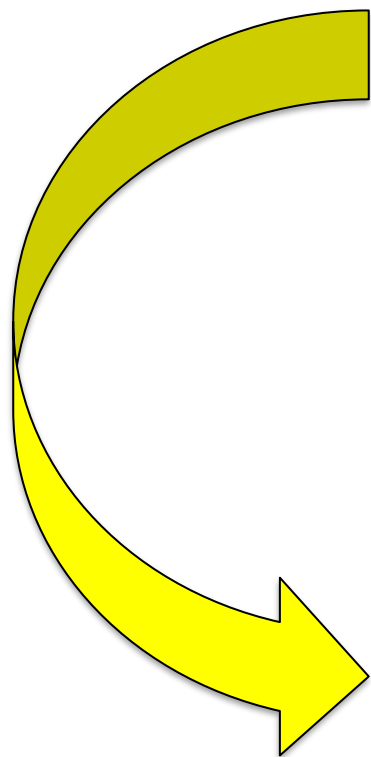
住民組織活動

声かけ・訪問
一緒に運動
学習活動

相互に高め合う関係

ソーシャル・キャピタル

人と人とのつながり
地域の信頼関係
お互い様の関係



住民組織活動とソーシャル・キャピタル

ソーシャル・キャピタル

声かけ・訪問や一緒に運動することで、地域のネットワークづくり

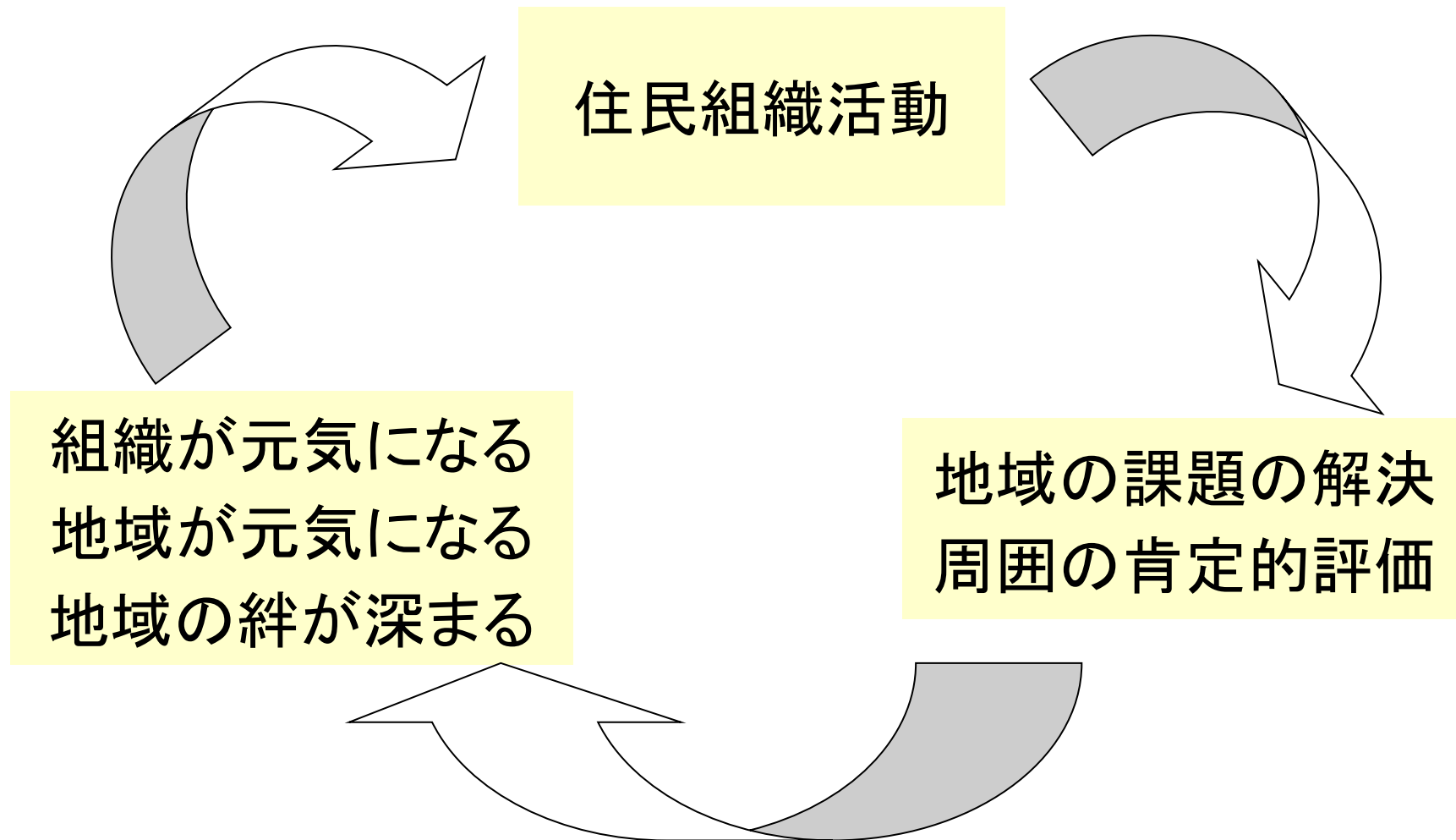
地域の信頼関係

お互い様の関係

住民組織活動

優れた住民組織活動は健康づくりを通じた地域のネットワークづくりだけでなく、地域における信頼関係や「お互い様」の関係につながる

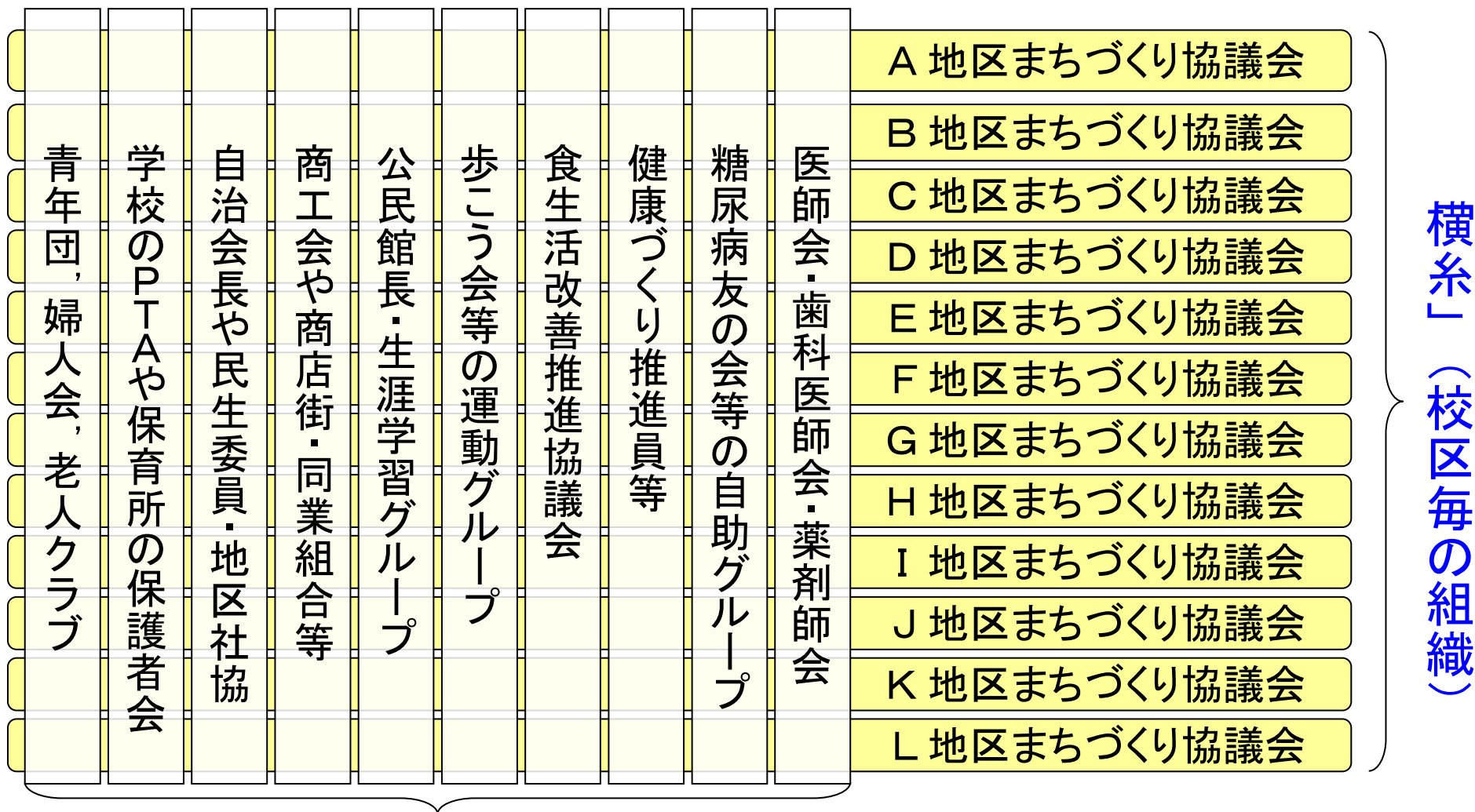
住民組織活動と地域活性化の好循環



住民組織・団体をつなぐ意義

- 「地縁」の団体と「知縁」の団体をつなぐ
 - 愛育班 + 子育てサークル → 支援の充実
 - 商店街 + 子育てサークル → 支援の新たなサービス
- 異なる年代層の団体をつなぐ
 - PTA + 老人クラブ → 伝統的な遊びの体験
 - 老人クラブ + 消防団 → 災害時の避難訓練
- 住民組織と企業・事業所をつなぐ
 - 自治会 + 地域の企業 → 災害時の避難を支援
 - 老人クラブ + 商工会 → 高齢者向けの新たなサービス
- 異なる団体の交流による「化学反応」が起こる
 - 新たな「楽しみ」の発見、新しいサービスの開発
 - 両方の団体にとって、Win-Winの関係になる

地域における様々な組織の連携



「縦糸」(世代・分野・目的別の組織)

縦割組織に横串を刺す

行政各部署が関わる住民組織・団体

地域住民

商工会・商店街
同業者組合

PTAや公民館長会
生涯学習グループ
体育指導員

自治会長会
消防団等

愛育班, 母子保健推進員
健康づくり推進員
食生活改善推進員

産業担当部局

教育委員会

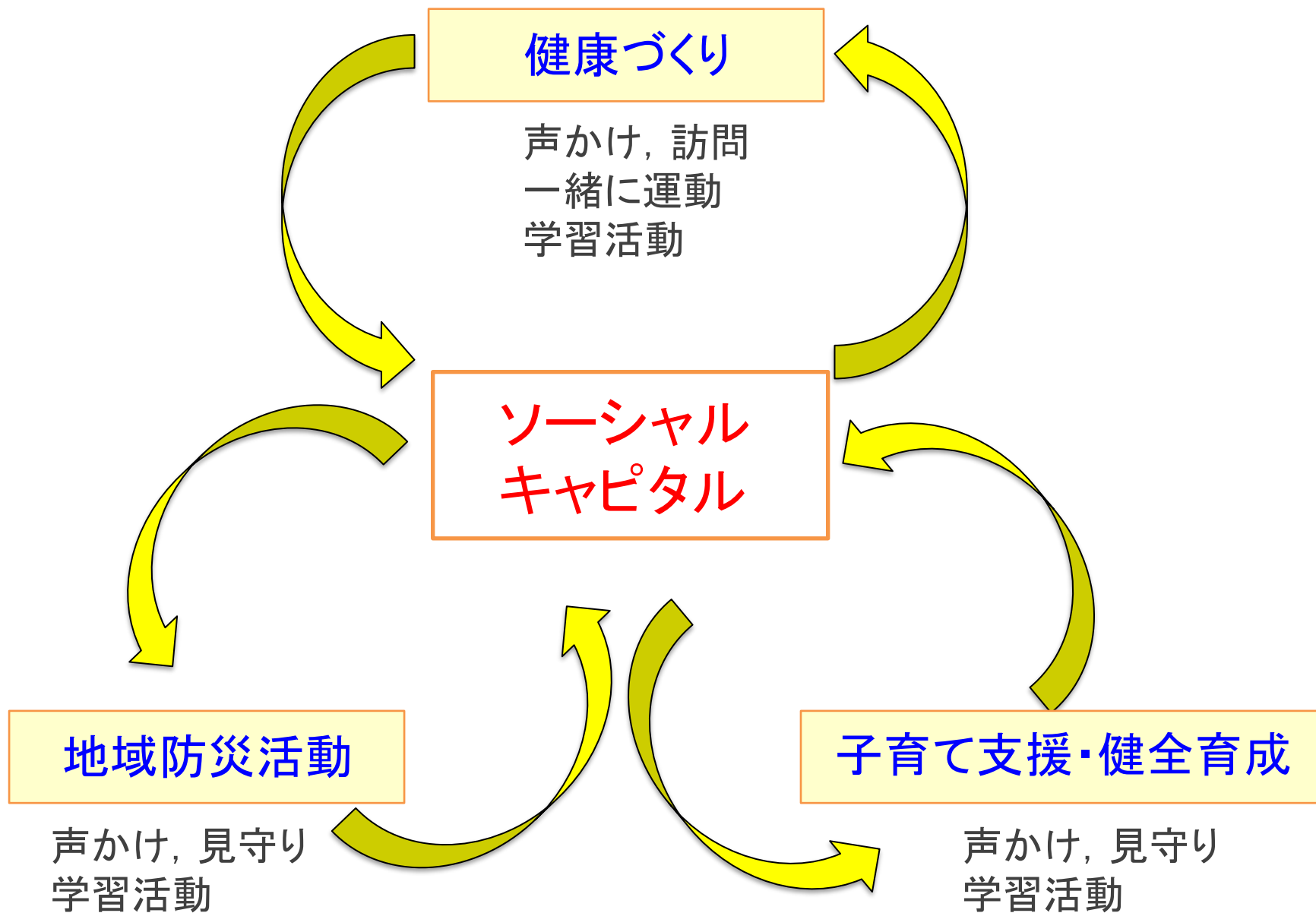
総務担当部局

保健担当部局

住民組織・団体にかかる庁内連携が重要

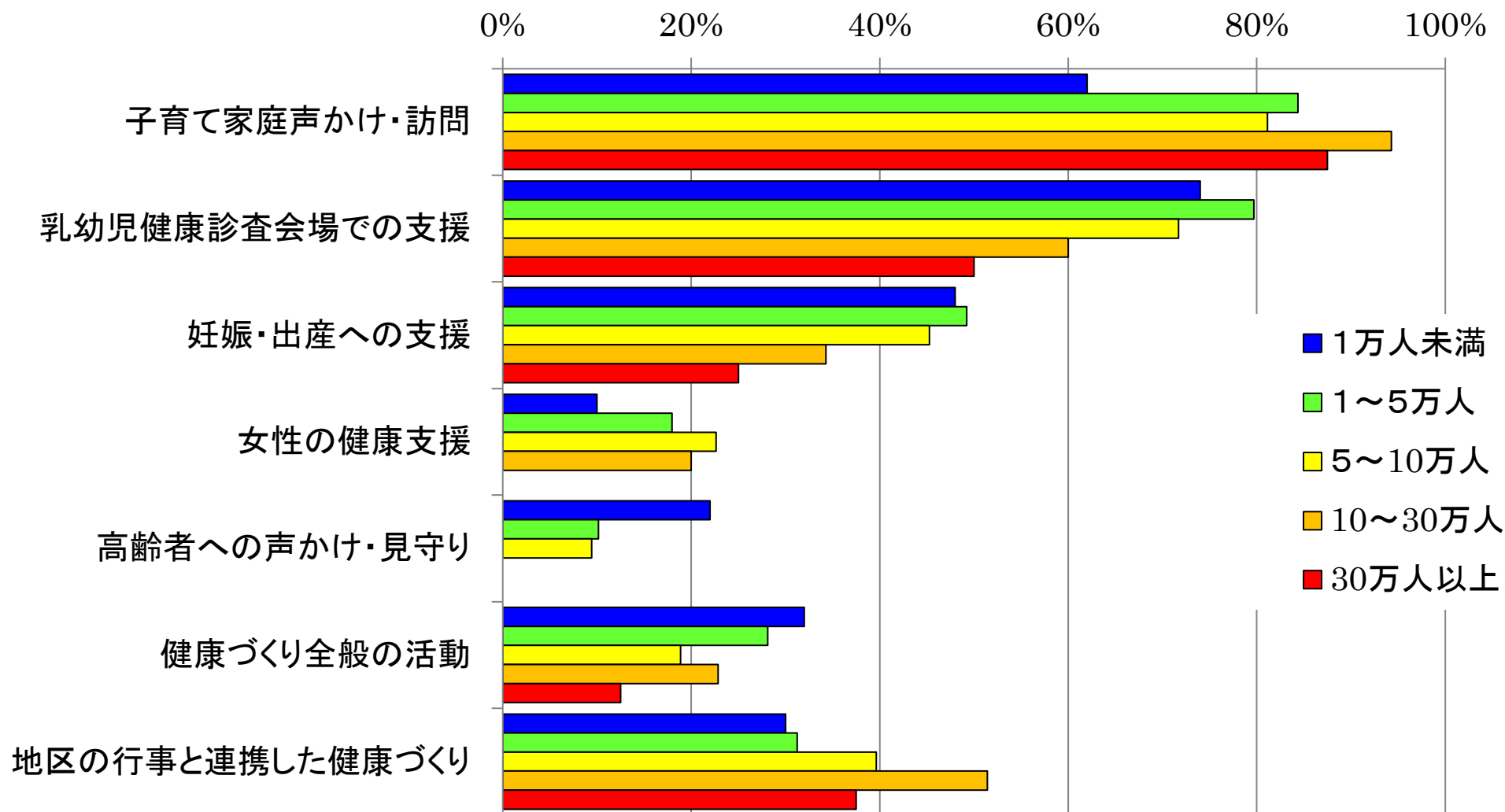
4割の自治体では、市民活動を支援する部署を設置
こうした部署と保健部門の連携が乏しい現状

ソーシャル・キャピタルと地域づくり



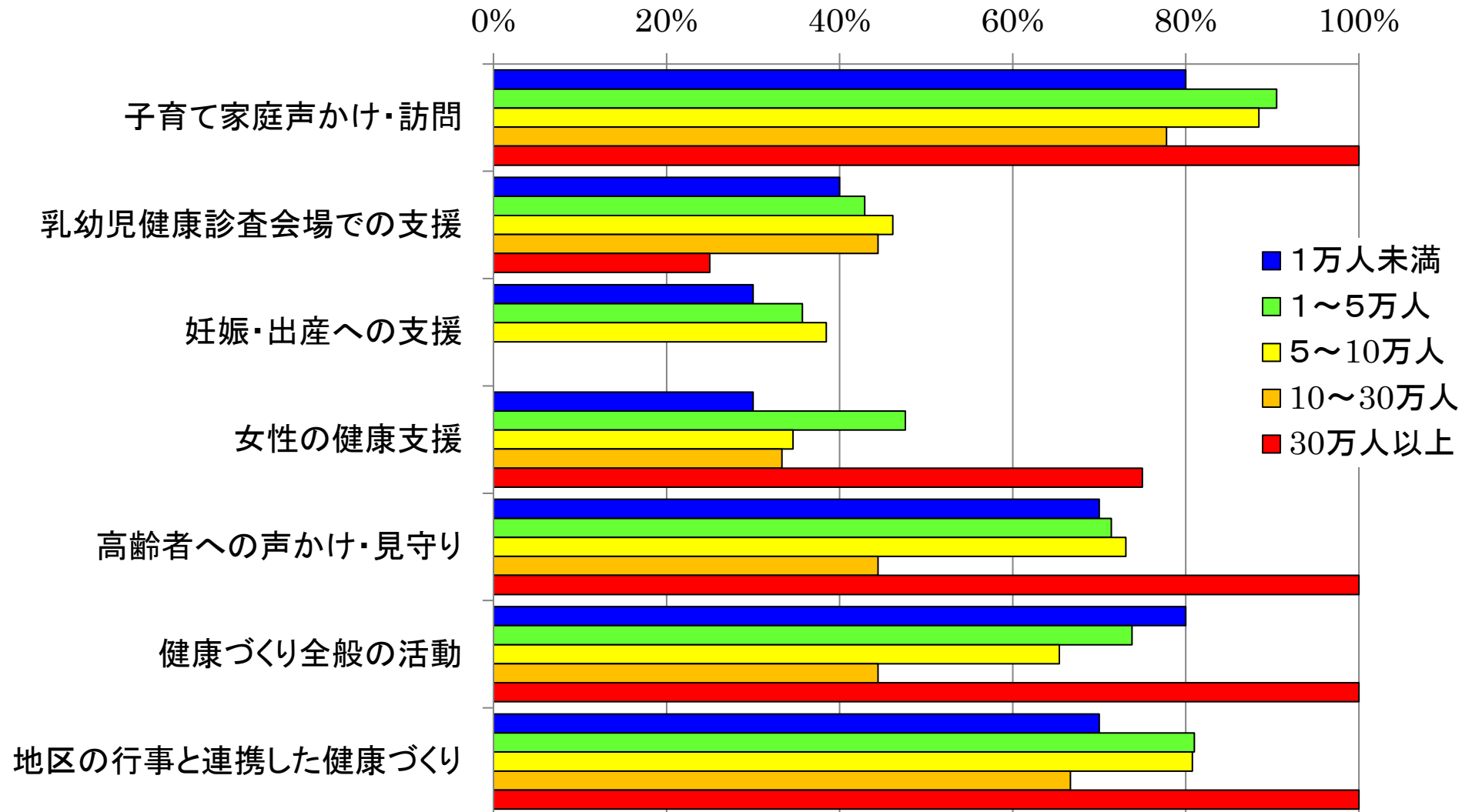
母子保健推進員等の活動内容

(平成25年度調査)



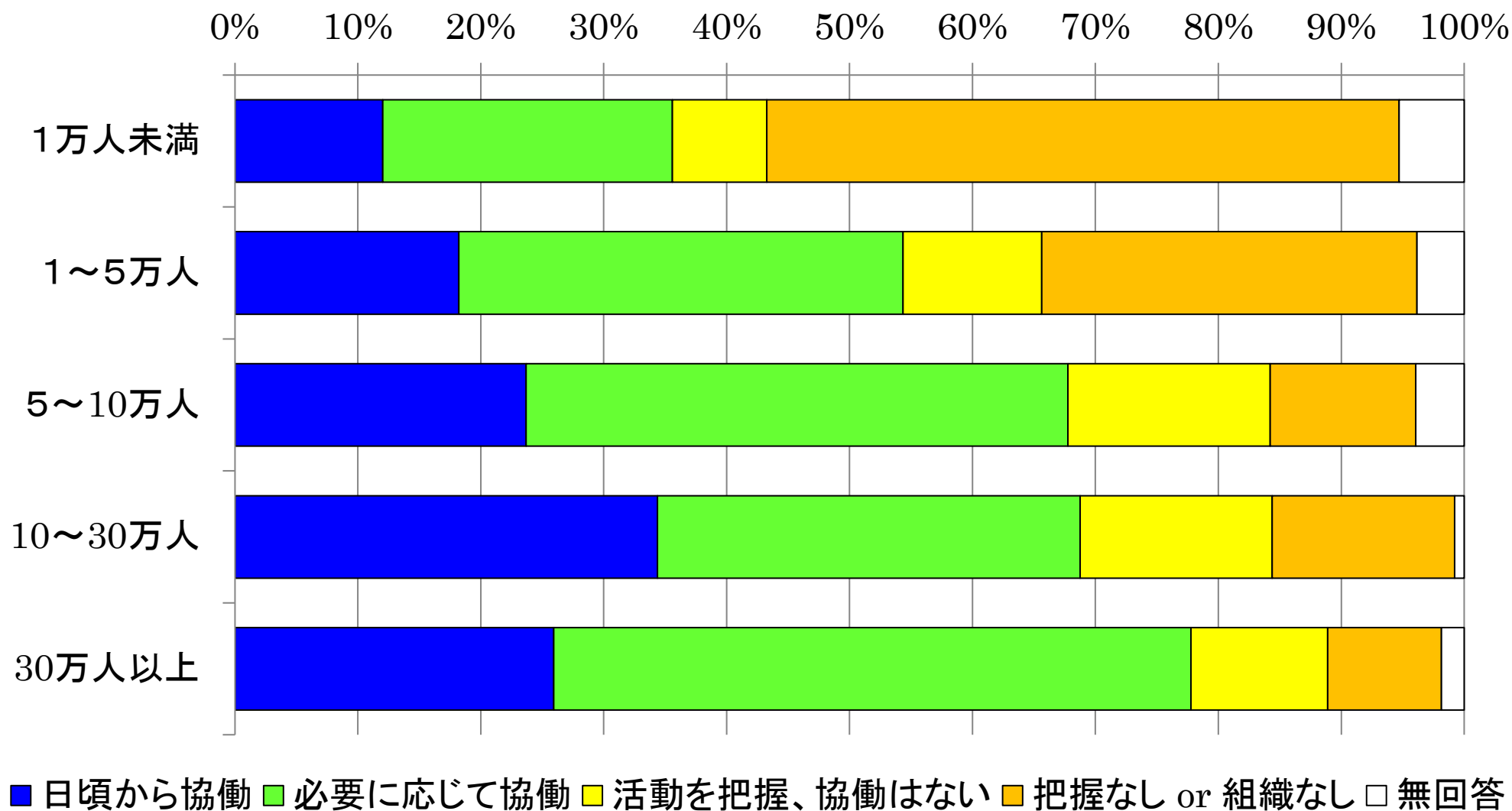
愛育班等の活動内容

(平成25年度調査)



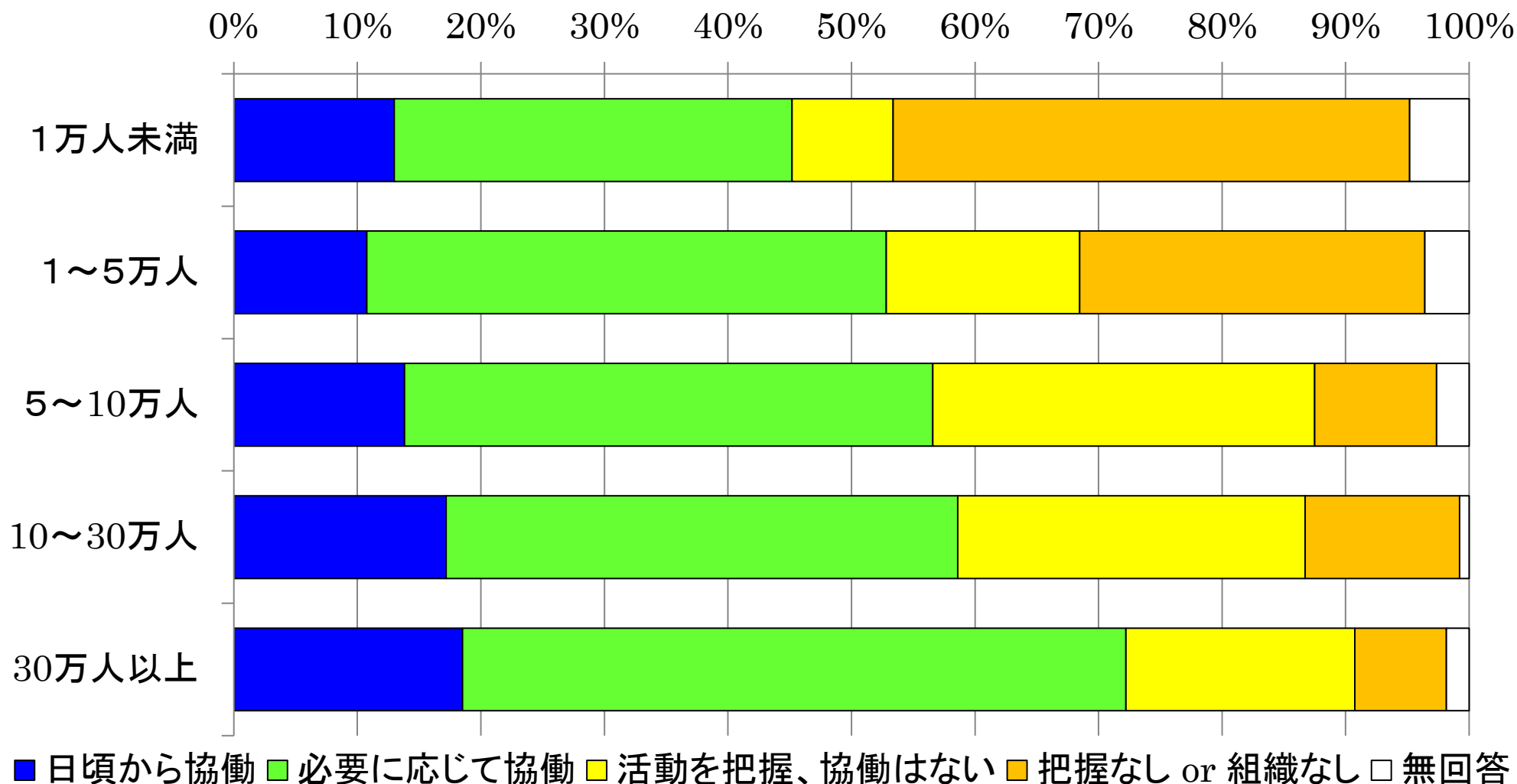
子育て支援の住民組織との協働

(平成25年度調査)



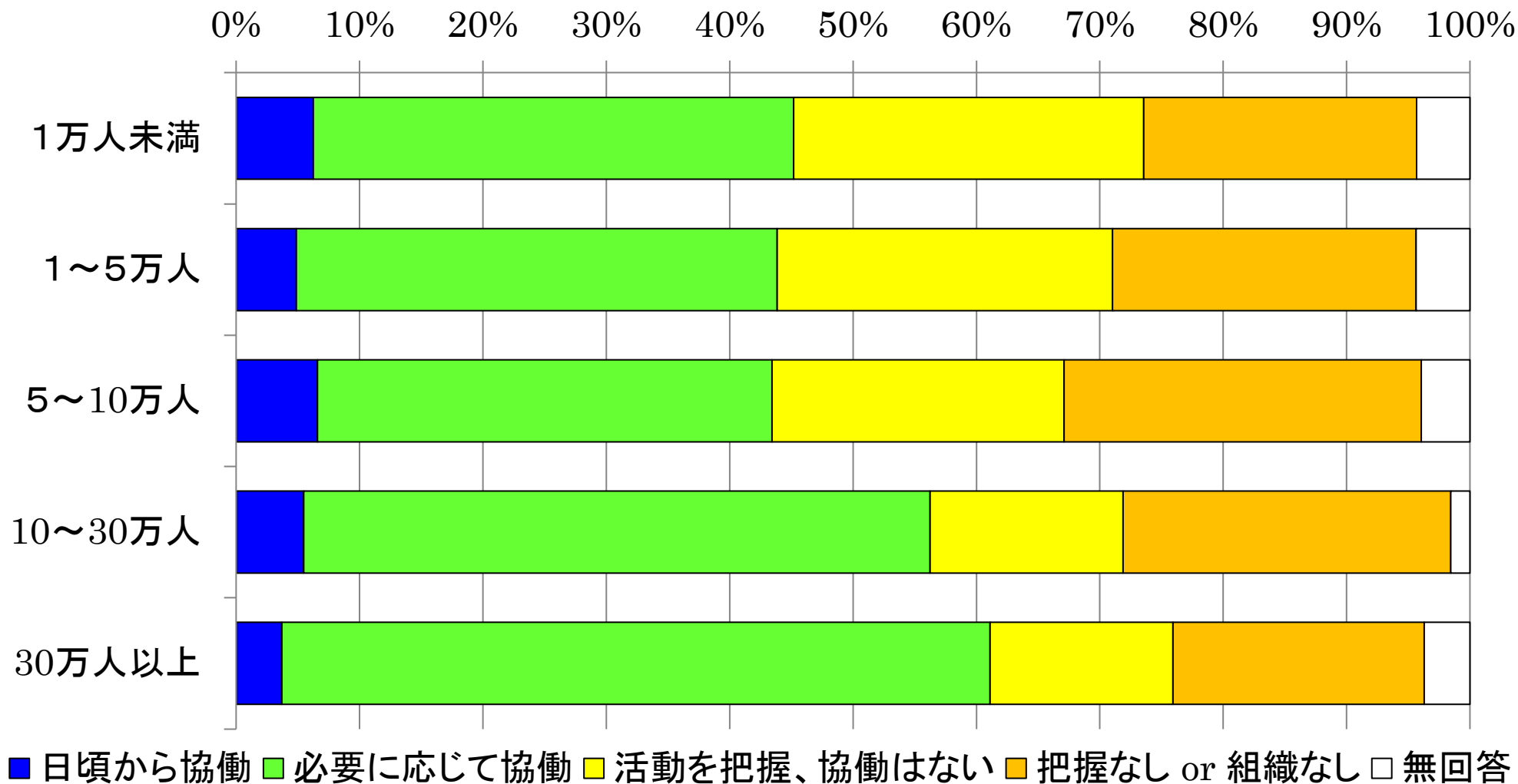
子育て中の親の会との協働

(平成25年度調査)



PTA・学校等の組織活動との協働

(平成25年度調査)



住民組織・団体の活性化に向けて ①

- 地域の健康課題や健康資源について「知る」
一般的な健康情報はネットやテレビでも
容易に入手できるので、ありがたくない！
- どのようなデータを住民は知りたいか？

自治体の死亡統計	○
自治体の健診結果	○
自治体の医療費統計	△
自治体の生活習慣の実態	◎
地区の健診結果	○
地区の生活習慣の実態	○
- 訪問活動等によって得られた地域の情報の集約を
地域の高齢者の実態(10年後の予想地図)

住民組織・団体の活性化に向けて ②

- 地域の異なる組織をつなぐ
地域交流事業等で、他組織にも声かけ
- 協働することで、その組織にとってもメリットがあること！
その組織の活動内容について理解をしておく
- 複数の組織のメンバーになっている構成員が「鍵」
組織についての情報収集と根回しが有効
- 健康づくり推進協議会などをうまく活用する
地域の課題を解決するために一緒に取り組む必要性
を協議会の構成団体に理解してもらう
協議会の本来の役割！
- 年度末の「やっつけ仕事」ではなく、組織をつなぐ貴重な
機会であることを保健師も認識すること

住民組織・団体の活性化に向けて ③

- 地域の課題やその解決に向けて自分達に何ができるかを話し合う「会議」にする
- 会議の場に参加しやすいように配慮する
働いている人も参加しやすい時間帯と会議時間
- 地域の課題について話し合う ← 「見える化」した資料
解決に向けて自分達に何ができるかを話し合う
- 自分たちの活動の目的を確認することにもつながる
活動をどう維持するかで悩んでいる組織も・・・
- 講話の後、グループに分かれての話し合いも活用
自分の意見が取り上げられる醍醐味を多くの班員に
- 欠席した人にも、議論の内容をきちんと伝える
次の議論に参加しやすいようにする

住民組織・団体の活性化に向けて ④

- まずは「小さな一歩」から取り組む
構成員が負担感なくできることが大切
- 地域活動の基本は「声かけ・訪問」
コロナ禍で、訪問活動が思うようできなかった3年間
誰が自分の地区の推進員かわからない地区も
- コロナの5類移行を機に、「声かけ・訪問」の再活性化を
地域の住民もふれあいの機会を待っているはず
- 地域の交流事業等も再開に当たって、その目的を再確認
参加者の笑顔が「原動力」 どうしたら喜んでくれるか？
- 事業の実践の中で、他の組織や団体を巻き込んでいく
岡山県吉備中央町の愛育委員の取り組み
配食を栄養委員と一緒にいき、より充実した内容に

住民組織・団体の活性化に向けて ⑤

- 自分たちの活動について知ってもらう
 - 自分たちの活動を報告する機会をつくる
 - ケーブルテレビや広報誌等で、活動と成果を紹介
 - 行政による活動成果の「見える化」とフィードバック
 - 「愛育班の活動で、医療費が3億円減った！」
- 「住民組織活動報告会」などの開催
 - 他の組織との交流の機会を設けることにより、横のつながりが広がる「楽しさ」を味わう
 - 他組織の活動を聞いて刺激を受ける
 - 他組織との協働の取り組みに発展することも
- 自分達の活動の成果を実感できる仕掛けも大切
 - 事業後の反省会の機会を上手に作る
 - 自分たちの活動を「語る」場を設ける



ジャンボかぼちゃ賞

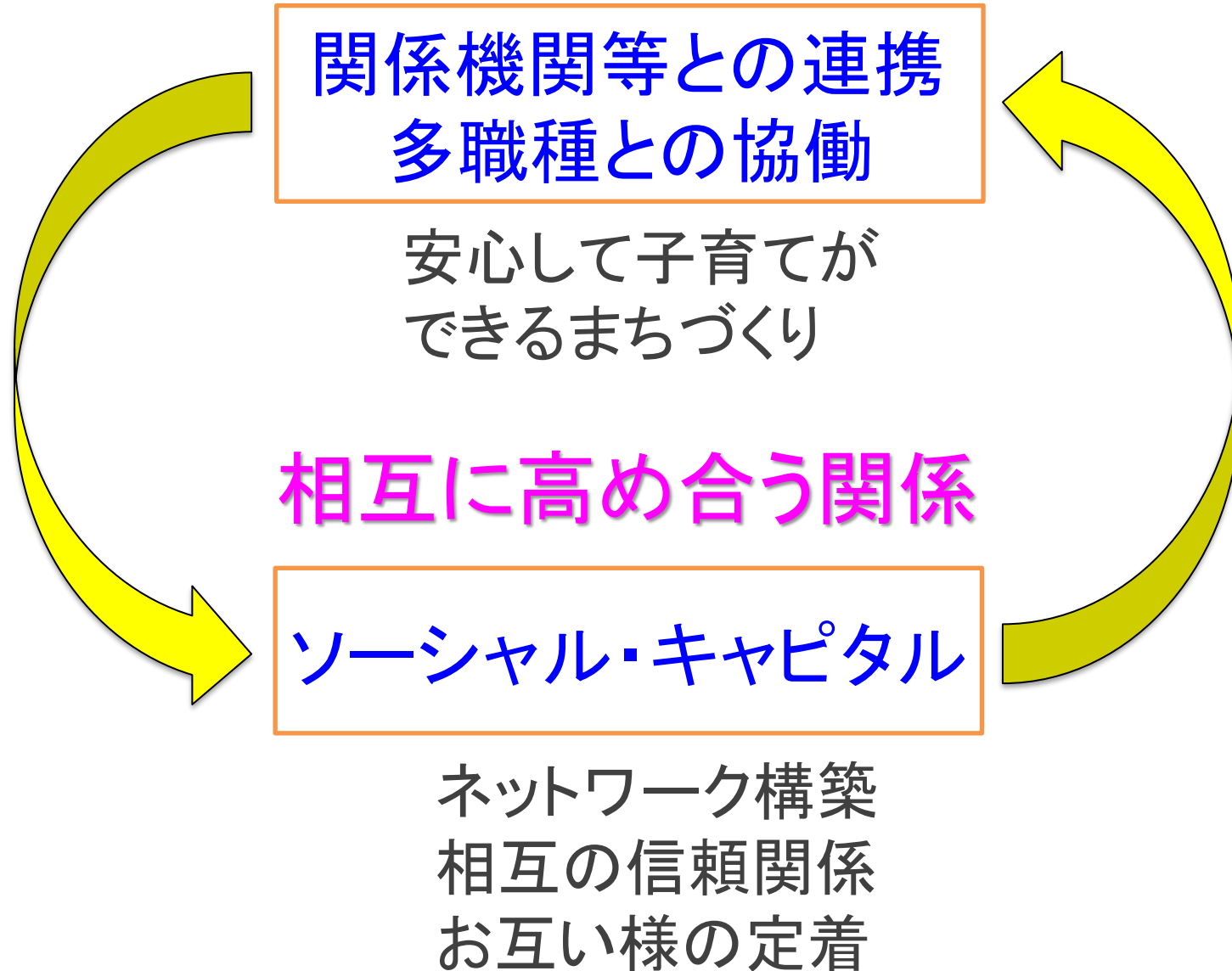
第1位

59.0kg

出品者名簿

大分県竹田市荻町の「愛育班祭り」

関係機関の連携とソーシャル・キャピタル



ソーシャル・キャピタルと母子保健活動

安心してこどもを産み育てられる地域

ソーシャル・キャピタル

多職種協働

住民組織活動

関係機関等
との連携

ソーシャル
キャピタル

ネットワーク

信頼関係

お互い様